

<前提条件>

- Office365 (Azure Active Directory)と認証連携を行うためにはドメインを用意していただく必要があります。
 - Office365 (Azure Active Directory)既定のドメイン(*.onmicrosoft.com)はご利用になれません。
 - Office365 (Azure Active Directory)にドメインをご登録頂く際、TXTレコードかMXレコードを登録していただく必要がございます。

<Web ブラウザ>

(1) FQDNおよびポート

FQDN	ポート
sso.osgapp.net	TCP 80/443

(2) サポートされるOSおよびWebブラウザ

OSGでは、以下のOSおよびブラウザを用いてOSGへのサインインと、Office 365 (Azure AD)への認証連携を動作検証しています。

【デバイスIDを使用しない場合】

OS	バージョン	ブラウザ
Windows	8.1、10 (Microsoft社のサポートに準ずる)	Internet Explorer 11
		Edge 最新バージョン
		Chrome 最新バージョン
		Firefox 最新バージョン
Mac OS	10.13.x~10.15.x	Safari 最新バージョン
iOS	11.x~14.x	Safari 最新バージョン
		Chrome 最新バージョン
Android	6.x~10.x (2021/8/1以降 7.x~10.x)	標準ブラウザ 最新バージョン

【デバイスIDを使用する場合】

OS	バージョン	ブラウザ
Windows	8.1、10 (Microsoft社のサポートに準ずる)	Internet Explorer 11
		Edge 最新バージョン
		Chrome 最新バージョン
Mac OS	10.13.x~10.15.x	Safari 最新バージョン
iOS	11.x~14.x	Safari 最新バージョン
Android	6.x~10.x (2021/8/1以降 7.x~10.x)	標準ブラウザ 最新バージョン

(3) 言語

下記の言語に対応しています。

- 日本語
- 英語
- 中国語(繁体字)
- 中国語(簡体字)

<リッチクライアント>

(1) FQDNおよびポート

FQDN	ポート
sso3.osgapp.net	TCP 80/443
sso.osgapp.net ※	TCP 80/443

※Office365の先進認証(モダン認証)を利用時に使用されます。

(2) サポートされるOSおよびリッチクライアント

OSGでは、以下のOSおよびリッチクライアントを用いてOSGへのサインインと、Office 365 (Azure AD)への認証連携を動作検証しています。
※デバイスIDを使用する場合、Office365の先進認証(モダン認証)を有効にする必要があります。

【デバイスIDを使用しない場合】

OS	バージョン	リッチクライアント
Windows	8.1、10 (Microsoft社のサポートに準ずる)	Outlook 2013,2016,2019
		Skype for Business 2015,2016
		Word/Excel/PowerPoint 2013,2016,2019
		Microsoft Teams
		OneNote (for Windows 10)
		OneNote 2016
Mac OS	10.13.x~10.15.x	Outlook 2016,2019 Skype for Business Word/Excel/PowerPoint 2016,2019
iOS	11.x~14.x	標準メーラー
		Microsoft Authenticator
		Outlook for iOS
		Word/Excel/PowerPoint
		Skype for Business
		Microsoft Teams
		OneNote
		OneDrive
Android	6.x~10.x (2021/8/1以降 7.x~10.x)	標準メーラー
		Outlook for Android
		Word/Excel/PowerPoint
		Skype for Business
		Microsoft Teams
		OneNote
OneDrive		

【デバイスIDを使用する場合】

OS	バージョン	リッチクライアント
Windows	8.1、10 (Microsoft社のサポートに準ずる)	Outlook 2013,2016,2019
		Skype for Business 2015,2016
		Word/Excel/PowerPoint 2013,2016,2019
		Microsoft Teams
		OneNote (for Windows 10)
OneNote 2016		
iOS	11.x~14.x	Microsoft Authenticator ※
Android	6.x~10.x (2021/8/1以降 7.x~10.x)	Outlook for Android
		Word/Excel/PowerPoint
		Skype for Business
		Microsoft Teams
		OneNote
OneDrive		

※Microsoft Authenticatorと連携して利用可能なアプリについてはこちらを参照下さい。

<デバイスID>

(1) FQDNおよびポート

FQDN	ポート
cybertrust.deviceid.ne.jp	TCP 80/443

※デバイスIDの取得時に使用します。

(2) SPF (Sender Policy Framework) レコード

SPFレコードのチェックを行っている場合、DNSサーバーのSPFレコードに下記IPアドレスを追加して下さい。

IPアドレス
202.32.255.39/32

(3) 言語

デバイスIDの発行通知メールは、下記の言語に対応しています。

- 日本語
- 英語

<OSG Management Web(管理画面)>

(1) FQDNおよびポート

FQDN	ポート
sso.osgapp.net	TCP 80/443
manage.osgapp.net	TCP 443

(2) サポートされるOSおよびWebブラウザ

OSGでは、以下のOSおよびブラウザを用いてManagement Webを動作検証しています。

OS	バージョン	ブラウザ
Windows	8.1、10 (Microsoft社のサポートに準ずる)	Internet Explorer 11

(3) 言語

下記の言語に対応しています。
・日本語

<OSG Sync アカウント同期>

(1) 必須コンポーネント

OSG Syncでは、オンプレミスのActive Directoryよりアカウント情報を同期する場合、Microsoft社が提供するAzure AD Connectが導入されている必要があります。

※ Azure AD Connectのシステム要件はこちらをご確認下さい。

<OSG Sync パスワード同期モジュール>

(1) FQDNおよびポート

FQDN	ポート
26b7338b-b10f-4a26.onlineservice-gate.net	TCP 443

(2) サポートされるOSおよびActive Directoryの機能レベル

OSGでは、以下のOSでパスワードが同期されることを確認・検証しています。

OS	バージョン	ドメイン及びフォレストの機能レベル
Windows Server	2008 R2、2012 R2、2016、2019	Windows Server 2003以上

(3) 必須コンポーネント

・Microsoft .NET Framework 4.0 以上

<OSG Browser>

(1) 通信要件

インターネット通信が可能である必要があります。

(2) サポートされるOS

【デバイスIDを使用しない場合】

OS	バージョン	ブラウザ
Windows	10	OSG Browser 最新バージョン
iOS	12.x~14.x	OSG Browser 最新バージョン
Android	7.x~10.x (2021/8/1以降 8.x~10.x)	OSG Browser 最新バージョン

【デバイスIDを使用する場合】

OS	バージョン	ブラウザ
Windows	10	OSG Browser 最新バージョン
iOS	12.x~14.x	OSG Browser 最新バージョン
Android	7.x~10.x (2021/8/1以降 8.x~10.x)	OSG Browser 最新バージョン

(3) サポートされるハードウェア要件

OS	ハードウェア	要件
Windows	プロセッサ	Pentium 4 もしくはそれより新しい SSE2 対応プロセッサ
	メモリ	512MB 以上のRAM
	ストレージの空き容量	200MB 以上
iOS	iPhone、iPad	-
Android	プロセッサ	ARM v7以上
	メモリ	512MBのRAM
	ストレージの空き容量	50MB以上
	画面サイズ	320×480px以上
	SDカード空き領域	1MB以上

(4) 言語

下記の言語に対応しています。
・日本語
・英語

<Mail Safe/Mail Vault>

(1) SPF(Sender Policy Framework)レコード

SPFレコードのチェックを行っている場合、DNSサーバーのSPFレコードに下記URLを追加して下さい。

FQDN
*spf.sbt-mailgate.jp

※冒頭に「_(アンダーバー)」が必要です。

(2) FQDNおよびポート

FQDN	IPアドレス	ポート
*sbt-mailgate.jp	202.241.206.0/25	TCP 80/443

・その他制約事項

- ・Windows 10 Azure AD Domain Joinはサポート対象外です。
- ・OSGで発行するデバイスIDをOSGのサインイン以外の用途でご利用いただくことはできません。
- ・SBTで実績のある動作検証済みのクラウドサービスとAzureAD連携については、ベストエフォートで設定方法の質疑応答に対応します。
※SBTで検証済みのSAML連携サービス(ManagementWebマニュアル参照)以外に関してはサポート対象外です。

以上